

事業番号	02 06 01	事業改善シート（令和2年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課			
		実施期間	S47～	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標	インバウンド需要を取り込み観光消費額を増加							
	健康長寿日本一を維持							
総合的に展開する重点政策	3-6 中山間地域での暮らしの価値の再発見				3-7 先端技術の積極的な活用・導入			
	3-8 生活を支える地域交通の確保							

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】	<p>地域交通については、県民の生活の足として重要な役割を担っており、持続可能な交通体系を構築する必要がある一方で、利用者数の減少により乗合バス事業者等の収益の悪化や市町村の財政負担が増加し、継続的な運行に当たって大きな課題となっている。</p> <p>バス、トラック事業者には、小規模事業者が多く、また、経営状況が厳しいこと等から、各業界の協会が中心となり、運輸事業の有効性を高める必要がある。</p>									
	【目指す姿】	<p>○持続可能な公共交通の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域的、基幹的な地域間幹線バス路線の確保・維持と利便性を向上させる。</li> <li>・市町村、交通事業者等と協働して、地域の実情に即した持続可能な交通体系を構築し、利用者の獲得・定着を図る。</li> <li>・営業用バス・トラックの輸送サービスの改善、安全運行の確保、環境と共生した安全安心な輸送の確保</li> </ul>									
	【実施内容】	<p>乗合バス事業者・タクシー事業者・市町村の支援、利用促進のための啓発、バス協会・トラック協会への助成、公共交通の最適化に向けた分析・検討、観光交通案内アプリで取得したデータの活用に向けたシステム拡張、等</p>									
指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]											
No.	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	
								前年度繰越	0	0	
1	地域間幹線バスの1日当たり輸送量	33.2人	33.2人	→ 23.7人	↓ 33.2人	未達成		予算額	現計予算	614,863	1,396,934
2	地域間幹線バス運行事業者の乗合バスへの低床バス導入率	76.6%	79.3%	↑ 79.9%	↑ 100%	未達成			合計(A)	614,863	1,396,934
3	営業用トラックの交通事故件数	197件	161件	↑ 149件	↑ 197件以下	達成			うち一般財源	576,828	570,049
4	長野県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」の累計ダウンロード数	38,083DL	66,963DL	↑ 75,129DL	↑ 82,000DL	未達成		決算額(B)	607,373	1,274,578	
							職員数(人)	4.0	4.0		
成果指標設定理由	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域間幹線バスの利用者を維持するため、1日当たり輸送量を成果目標に設定</li> <li>2. 乗合バス車両のバリアフリー化促進のため、地域間幹線バス運行事業者の低床バス導入率を成果目標に設定</li> <li>3. 営業用トラックの安全運行確保のため、交通事故件数を成果目標に設定</li> <li>4. 生活バス路線の維持確保にもつなげる「信州ナビ」のダウンロード数を成果目標に設定</li> </ol>										
達成状況の分析	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域間幹線バスの1日あたり輸送量については、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛等の影響もあり、目標未達成となった。</li> <li>2. 地域間幹線バス運行事業者の乗合バスへの低床バス導入率については、事業者の経営状況の悪化等により車両更新が進まなかったことから目標未達成となったが、令和元年度から令和2年度にかけて0.6ポイント増となっており、導入率は改善されているところ。</li> <li>3. 営業用トラックの交通事故件数については、安全対策等の実施により149件と目標比48件減少となり、目標を達成した。</li> <li>4. 長野県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」のダウンロード数については、本県への旅行者数が減少したこと等から目標未達成となったが、令和元年度から令和2年度にかけて8,166増となっている。</li> </ol>										
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓地域間幹線系統(複数市町村にまたがり運行される広域的なバス路線)の基盤強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県でバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する事業者(4事業者、継続13台、新規導入3台)に貸与することでバス路線の基盤強化を行った。</li> </ul> </li> <li>✓地域公共交通の最適化サポート <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通ネットワークの再構築を住民にも見えやすい形で取組み、地域公共交通の維持確保を目指すため、既存バス路線の現状・課題を診断するカルテを作成</li> </ul> </li> <li>✓新型コロナウイルスへの対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事業者による感染拡大の防止に係る取組への支援や、県民生活維持のため運行を継続する交通事業者に対する支援を行った。</li> </ul> </li> </ul>										
											

## 2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
<p>今後、事業をどのようにしていきたいか</p>	<p>地域交通は生活の足として重要な役割を担っているが、利用者数の減少等により事業者等の収益が悪化しており、継続的な運行に当たって大きな課題となっている。</p>	<p>生活に必要なバス路線の運行を引き続き支援するとともに、利用者増につながる施策も行いながら、公共交通の継続的な運行確保に努める</p>
	<p>公共交通機関におけるキャッシュレス決済導入拡大が必要だが、事業者の導入コストが課題</p>	<p>国庫補助と協調し県が支援することにより導入を促進する</p>
	<p>公共交通は広域圏（生活圏）全体で最適化を図ることが必要であり、市町村が個別で検討するのは非効率的</p>	<p>生活圏を意識した広域的な公共交通網の構築について、県としても最適化につながる取組を支援する</p>

事業番号 02 06 01 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
-----	------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
1	地域間幹線バス路線確保維持費補助金	275,946 千円	280,387 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	地域間幹線バス路線確保維持事業費補助金	補助金	①路線の確保・維持のため、乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費を補助 【補助件数 5件（5者 28系統）、補助総額 185,235千円】 ②バス車両のバリアフリー化推進・老朽化対策のため、乗合バス事業者が購入した低床バスの減価償却費等を補助 【補助件数 4件（4者 18台）、補助総額 20,638千円】 【補助率：国1/2、県1/2】
2	県有民営による幹線バス路線確保対策事業	直接	地域間幹線バス路線の基盤強化を図るため、県がバスを所有し、事業者に貸与 【購入実績 3台 購入総額 74,514千円】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
2	運輸事業振興助成補助金	309,040 千円	310,177 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	運輸事業振興助成補助金	補助金	バス・トラックの安全・安心な輸送の確保を図るため、各協会が行う輸送サービスの改善や安全運行の確保等の取組に対して補助 【補助件数 2件（2者）、補助総額 310,177千円】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
3	地域交通ベストミックス構築事業	5,737 千円	1,341 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	地域交通ベストミックス構築事業費補助金	補助金	持続可能な交通体系を構築するため、市町村等が実施する地域交通の見直し等の取組を支援 【補助件数 1件（継続1地域）、補助総額 1,341千円】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
4	公共交通乗換案内サイト構築事業	7,147 千円	5,995 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	「信州ナビ」のデータ分析機能実装	委託	信州ナビで収集した利用者属性や操作履歴などのデータを、分かりやすい形で整理・分析することで他の施策に活かすことができる機能を実装

細事業 No.	細事業名	R1年度 決 算	R2年度 決 算
5	みんなのタクシー利活用促進事業	4,900 千円	4,300 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	①タクシー活性化支援事業補助金 ②タクシードライバー確保育成支援事業補助金	補助金	①タクシーの利活用促進のための事業を実施する事業者に対し、ユニバーサルデザインタクシー車両の導入補助を実施 【補助件数 5件(5者 5台)、補助総額 3,000千円】 ②タクシーの運転手確保・育成のための取組を支援 【補助件数 1件(1者)、補助総額 1,300千円】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決 算	R2年度 決 算
6	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	60 千円	312 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	多角連携型モビリティ・アドバイザー派遣事業	直接	地域交通の最適化に向けた取組を、様々な関連分野における専門的・複合的知見からサポートするため、市町村等の要望に応じて、交通専門家のほか、ICT・観光等の多様な連携分野の知見者を派遣 【モビリティアドバイザー派遣先 4市町村、1地域振興局】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決 算	R2年度 決 算
7	地域公共交通最適化サポート事業	4,543 千円	4,686 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	地域公共交通最適化サポート事業	委託	地域交通の最適化にかかる市町村、事業者等の取組を推進するため、地域バス路線のデータ収集・分析を行い、現状・課題を診断するカルテを作成 【カルテ策定広域 4広域(佐久・上田・諏訪・松本)】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決 算	R2年度 決 算
8	「定額タクシー」モデル構築事業	- 千円	- 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	「定額タクシー」モデル構築事業	負担金	国の規制緩和により一定の事業効果が得られたため、事業取りやめ

細事業 No.	細事業名	R1年度 決 算	R2年度 決 算
9	安全・安心なバス・タクシー支援事業	- 千円	245,140 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	安全・安心なバス・タクシー支援事業	補助金	バス事業者及びタクシー事業者の「新しい生活様式」への転換を促進するため、感染防止対策の実施費用及び広報費用を助成 【補助件数 270件(270者)、補助総額 245,140千円】

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
10	高速乗合バス利用回復支援事業		- 千円	34,387 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	高速乗合バス利用回復支援事業	補助金	高速乗合バス路線を活性化させるため、バス事業者等が行う利用促進や収益力強化につながる取組を支援 【補助件数 9件(9者)、補助総額 34,387千円】	

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
11	地域公共交通運行継続支援事業		- 千円	346,324 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	地域公共交通運行継続支援事業	補助金	地域公共交通の確保維持を図るため、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、厳しい経営環境にある交通事業者の運行継続を支援 【補助件数 9件(8者)、補助総額 346,324千円】	

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
12	地域間幹線バス路線運行継続支援事業		- 千円	41,529 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	地域間幹線バス路線運行継続支援事業	補助金	広域的・基幹的なバス路線の確保維持を図るため、地域間幹線バス路線の運行継続を支援 【補助件数 4件(4者)、補助総額 41,529千円】	